



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 ネポン株式会社

コード番号 7985 URL <http://www.nepon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 福田 晴久

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員管理本部長 (氏名) 小林 美修

TEL 03-3409-3159

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,354	△0.8	△162	—	△191	—	△201	—
23年3月期第2四半期	2,373	△8.9	△275	—	△306	—	△354	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△16.83	—
23年3月期第2四半期	△29.54	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,214	—	798	—	—	15.3
23年3月期	5,010	—	1,007	—	—	20.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 798百万円 23年3月期 1,007百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△5.1	110	23.5	50	23.0	30	△47.1	2.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	12,028,480 株	23年3月期	12,028,480 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	44,723 株	23年3月期	44,083 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	11,984,051 株	23年3月期2Q	11,985,923 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	1
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
(3) 追加情報 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書	
第2 四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュフロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災とその後の電力制限により企業の生産活動等が制限され、さらに、欧米における財政不安や円高等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社は、期初に策定しました中期経営計画(平成23年5月10日公表)の『お客様が求める環境作りのために私たち(社員)はお客様の声を起点に農と住の明日を創造する会社を目指します』を事業骨子としてシナリオを進めております。

当第2四半期累計期間においては、当社が営業基盤としております施設園芸業界へ積極的な拡販及びメンテナンス活動等に取り組みましたが、九州地区の豪雨の影響等により主力の施設園芸用温風暖房機の出荷が伸び悩んだ結果、売上高は23億5千4百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

損益面においては、コストダウンにより売上総利益率を改善し、加えて販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業損失は1億6千2百万円(前年同期2億7千5百万円の営業損失)と前年同期に比べ1億1千3百万円改善し、経常損失も1億9千1百万円(前年同期3億6百万円の経常損失)と前年同期に比べ1億1千5百万円改善することができました。

四半期純損失は、特別損失の発生が軽微なこともあり、2億1百万円(前年同期3億5千4百万円の四半期純損失)と1億5千2百万円の改善となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ、受取手形及び売掛金が2億1千1百万円減少しましたが、現金及び預金が4億2千万円、棚卸資産が7千万円増加したこと等により、2億3千4百万円の増加となりました。

固定資産は、前事業年度末に比べ、保険積立金の解約や投資有価証券の時価の下落等により投資その他の資産が1千5百万円減少したことに加えて、有形及び無形固定資産の減価償却等により、3千1百万円の減少となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ、短期借入金が1億8千6百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が1億6千1百万円、流動負債の「その他」が5千2百万円減少したこと等により、3千8百万円の減少となりました。

固定負債は、前事業年度末に比べ、長期借入金が4億4百万円、退職給付引当金が4千4百万円増加したこと等により、4億5千万円の増加となりました。

#### (純資産)

純資産の部は、四半期純損失を2億1百万円計上したこと等により、前事業年度末に比べ、2億9百万円の減少となりました。

以上の結果、前事業年度末に比べ、総資産は2億3百万円増加し、52億1千4百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表いたしました数値から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （たな卸資産の評価方法の変更）

当社における、原材料の評価方法は、従来、最終仕入原価法を採用しておりましたが、第1四半期会計期間より、総平均法に変更しました。

この変更は、原材料の評価金額の平準化を図るためのものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ1百万円増加しております。また、前事業年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は0百万円増加しております。

#### （有価証券の評価方法の変更）

当社における、有価証券の評価方法は、従来、売却原価を総平均法により算出しておりましたが、第1四半期会計期間より、移動平均法に変更しました。

この変更は、有価証券取引の売却損益を速やかに確定するためのものであります。

当該会計方針の変更に伴い遡及適用した場合に、過年度の財務諸表に与える影響が軽微であるため、遡及適用を行っておりません。

### （3）追加情報

#### （会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	436,641	857,322
受取手形及び売掛金	1,666,418	1,455,241
商品及び製品	627,741	611,492
仕掛品	91,773	95,145
原材料及び貯蔵品	557,242	640,647
その他	243,164	194,898
貸倒引当金	△21,977	△19,049
流動資産合計	3,601,004	3,835,697
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	573,417	568,853
その他（純額）	500,157	487,287
有形固定資産合計	1,073,575	1,056,140
無形固定資産		
投資その他の資産	56,958	58,660
その他	567,769	554,188
貸倒引当金	△288,411	△290,615
投資その他の資産合計	279,358	263,572
固定資産合計	1,409,892	1,378,373
資産合計	5,010,897	5,214,070
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	948,020	786,347
短期借入金	1,777,900	1,964,864
未払法人税等	25,230	13,624
その他	203,624	151,271
流動負債合計	2,954,775	2,916,106
固定負債		
長期借入金	405,200	810,035
退職給付引当金	548,948	593,384
役員退職慰労引当金	61,708	63,958
資産除去債務	18,627	18,644
その他	14,329	13,717
固定負債合計	1,048,813	1,499,740
負債合計	4,003,588	4,415,847

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,424	601,424
資本剰余金	480,463	480,463
利益剰余金	△63,929	△265,620
自己株式	△6,971	△7,017
株主資本合計	1,010,986	809,250
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,678	△11,026
評価・換算差額等合計	△3,678	△11,026
純資産合計	1,007,308	798,223
負債純資産合計	5,010,897	5,214,070

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,373,686	2,354,946
売上原価	1,652,651	1,576,765
売上総利益	721,034	778,180
販売費及び一般管理費	996,567	940,239
営業損失(△)	△275,532	△162,058
営業外収益		
受取利息	333	308
受取配当金	888	899
受取地代家賃	4,200	4,200
貸倒引当金戻入額	—	283
その他	5,305	4,882
営業外収益合計	10,727	10,574
営業外費用		
支払利息	34,772	31,898
その他	6,883	7,670
営業外費用合計	41,656	39,569
経常損失(△)	△306,460	△191,053
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,299	—
固定資産売却益	133	—
投資有価証券売却益	248	—
会員権売却益	39	—
特別利益合計	2,721	—
特別損失		
固定資産除却損	493	450
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,627	—
投資有価証券評価損	6,150	—
特別損失合計	40,271	450
税引前四半期純損失(△)	△344,011	△191,504
法人税、住民税及び事業税	10,482	10,297
法人税等調整額	△442	△111
法人税等合計	10,040	10,186
四半期純損失(△)	△354,051	△201,690

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△344,011	△191,504
減価償却費	82,388	45,522
保険戻戻金	△559	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,006	44,436
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15,500	2,250
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△971	△722
受取利息及び受取配当金	△1,222	△1,208
支払利息	34,772	31,898
有形固定資産売却損益(△は益)	△133	—
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	5,902	—
有形固定資産除却損	493	450
会員権売却損益(△は益)	△39	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,627	—
売上債権の増減額(△は増加)	185,650	208,972
たな卸資産の増減額(△は増加)	83,759	△70,528
仕入債務の増減額(△は減少)	△95,413	△161,673
その他	△105,734	11,309
小計	△133,983	△80,797
利息及び配当金の受取額	1,225	1,208
利息の支払額	△36,560	△33,591
法人税等の支払額	△20,965	△20,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190,283	△134,145
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60,000	△60,000
定期預金の払戻による収入	60,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△44,649	△23,899
有形固定資産の売却による収入	5,639	—
無形固定資産の取得による支出	△8,983	△3,471
投資有価証券の取得による支出	△10,600	—
投資有価証券の売却による収入	698	—
保険積立金の解約による収入	8,088	5,540
保険積立金の積立による支出	△5,865	△1,332
その他	△18,183	△13,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,856	△36,925

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	320,000	970,000
短期借入金の返済による支出	△101,000	△906,000
長期借入れによる収入	460,000	810,000
長期借入金の返済による支出	△280,940	△282,201
自己株式の取得による支出	△175	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	397,884	591,752
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	133,744	420,681
現金及び現金同等物の期首残高	273,099	353,641
現金及び現金同等物の四半期末残高	406,844	774,322

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。